

令和元年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 3月予報

【イチゴ】ハダニ類

発生量の増加が認められます。今後の気温は平年より高いと予報されるため、増加すると予測されます。天敵導入後もハダニ類の発生が抑制できない場合には、薬剤による防除を徹底してください。

【イチゴ】アザミウマ類

一部の地域でヒラズハナアザミウマの増加が認められます。今後の気温は平年より高いと予報されるため、増加すると予測されます。多発してからの防除は困難となるため、防除を徹底しましょう。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(3月)

作物	病害虫名	3月(予測)	発生状況及び今後の予測	2月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は平年並と予想されており、急激な増加はないと予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病 発病部位の他、枯死した花卉や果梗部は見つけしだい除去し、被害の拡大を防ぐ。 ・ハダニ類 ほ場内をよく観察し、発生が認められれば薬剤防除を実施する。同一系統薬剤の連用は避ける。
	うどんこ病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は平年並と予想されており、急激な増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	多	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の上昇とともにさらに増加が予測される。	やや多	
	コナジラミ類	少	一部の調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は上昇するものの、急激な増加はないと予測される。	少	
トマト	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は平年並と予想されており、急激な増加はないと予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。
	コナジラミ類	やや少	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の上昇により増加すると予測される。	少	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。耐病性品種では今後も発生は少ないと予測されるが、罹病性品種では発生すると予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・べと病 過湿時には発生が助長されるため、送風機などを利用し、通風を良くする。発病が認められたら発病葉は除去し、薬剤防除を行う。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。
	うどんこ病	並	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は平年並と予想されており、急激な増加はないと予測される。	並	
	べと病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は平年並と予想されており、急激な増加はないと予測される。	少	
	アザミウマ類	少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温は上昇するものの、急激な増加はないと予測される。	少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温は上昇するものの、急激な増加はないと予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種: イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(CF桃太郎J:葉かび病耐病性)、キュウリ(極光:褐斑病耐病性)

トマト タバココナジラミ

タバココナジラミは、トマト黄化葉巻ウイルスを媒介します。ウイルスに感染したトマトは新葉の周縁部が退緑し、葉巻症状を呈するほか、病勢が進むと頂部が叢生して株全体が萎縮し、開花しても着果しにくくなり、果実の肥大性が悪くなります。

今作は、施設内に設置した黄色粘着板へのコナジラミ類誘殺数は、平年よりも多く、トマト黄化葉巻病も発生しました。3月は平年よりも気温が高い予報のため、発生量は増加すると考えられます。そのため、罹病株や施設内の雑草を除去した後、防除を徹底して、発病を抑制してください。



トマト黄化葉巻病の症状

数値データ

(調査:岐阜・西濃地域2月)

作物	病害虫名	単位	本年	平年
イチゴ	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.1)
	うどんこ病	(発病果率)	0	(0.9)
	ハダニ類	(寄生株率)	11.3	(8.4)
	コナジラミ類	(寄生株率)	0	(1.5)
トマト	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.1)
	コナジラミ類	(誘殺頭数)	0.32	(1.12)
キュウリ	褐斑病	(発病葉率)	0	(0.0)
	うどんこ病	(発病葉率)	0.25	(0.26)
	べと病	(発病葉率)	0	(0.0)
	アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.01)
	コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)

注1) ()内数値は平年値、単位は株率・果率・葉率は%、頭数は頭

注2) イチゴは3ほ場、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板1枚あたりの誘殺数(調査期間:2/1~2/Ⅲ)

＝施設栽培の病害虫防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 2月27日)

向こう1カ月の平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の予想です。天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767